

Frankfurt



現地職員は横浜のシティプロモーション全般や事務所の広報・総務などを担当しています。マリア・ドイツさん（写真中央）は、約 7 年弱にわたりフランクフルト事務所を力強く支えてくれました。皆に惜しまれながら 11 月末で退職されます。そんなドイツさんから一言。「事務所の仕事を通じて、横浜についてたくさん学びました。また、この 7 年弱で、視察アテンド、都市間交流、観光 PR など、幅広くて面白い仕事ことができました。林市長や市会議員の先生方にお会いできたことは光栄でした。」ドイツさん、今まで本当にありがとうございました！

そして後任は、横浜港と姉妹港のハンブルク出身で、「日本語をもっと上手になって、横浜とフランクフルトの架け橋となれるよう一生懸命頑張りたい。」というサスキア・コルダツキさん（写真右）です。



<http://www.yokohama-city.de/jp/index.html> （フランクフルト事務所 HP）

Shanghai



勤続 14 年目になる張健（チョウ・ケン）さん（写真左）は、上海事務所の政策系業務の全てに携わっています。（ちなみに日本語も大変流暢で、斎藤所長に「私よりもうまいです」と言わしめるほど！）そんな張健さんから見た横浜の魅力は、ハイテク産業などが集積する一方、開放的で住みやすく、街中を走ると非常に気持ちが良いので、いつか横浜マラソンに出てみたいそうです。



上海事務所は、横浜と上海の友好都市事業をはじめ、教育交流、横浜企業の中国進出、販路開拓、中国企業の誘致、観光プロモーション、最近では環境・福祉など多方面において、横浜市との各局と連携を取りながら、事業を進めています。今後さらに事業を推進するうえで、張健さんから本市の事業担当に向けて、「中国にできるだけ頻繁に来てもらい、一緒に仕事ができると、もっと説得力ある業務ができると思いますし、自分自身もより深く横浜を理解し、業務の確度を上げていきたいです」と、アツク語っていただきました！



<http://www.idec.or.jp/shanghai/> （上海事務所 HP）

Mumbai



ダニカ・バルチャーさん（写真右）はムンバイ事務所設立準備時から勤務を始めて、今年で 2 年目になります。事務所業務の全般において所長を補佐しており、特にインドの行政機関や現地企業との折衝では大いに活躍して下さっています。そんなダニカさんが、横浜の好きなのは、「美しい海と外国文化を受け入れてきた開放的な点、そして歴史的なものと現代的なものが混在しているところ」だそうです。



また、ムンバイでおすすめのスポットは、市南部の海岸沿いの「マリンドライブ」。アラビア海に沈む夕日の雄大で美しい眺めと、「女王の首飾り」と呼ばれる街路灯がきらめく夜景が非常に魅力的です。ムンバイを訪れた際は、ぜひ立ち寄ってみてください！混雑した電車で長時間揺られながらの通勤が最近の悩み…とのことですが、それだけ発展していくムンバイのエネルギーを肌で感じているそうです。



そんな成長著しいインドの活力を取り込み、市内経済の一層の活性化につなげていくため、ムンバイ事務所は所長と職員が力を合わせてがんばっていきます！

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/exchange/office/20160223110755.html> （国際局 HP）